

科目名称：	インテリア・コーディネート演習Ⅲ	
担当者名：	大場新之助、東田修一、西田恵子、塩村亜希、森みち子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	5
授業の目的・テーマ		
インテリアコーディネーターになるための知識や技術を身につけ、社会にとって価値ある能力を育む。また、インテリアコーディネーター資格取得のための本格的な学習に取り組む。		
授業の達成目標・到達目標		
インテリアコーディネートを実践するための高度な知識と技術を身につけ、課題を解決したり、独自の提案をインテリアコーディネートを通し行える。また、インテリアコーディネーター資格を取得する。		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、主に基礎教育科目により、基礎知識を修め幅広い教養を身につけ、多様な文化や考えに対応できる。	
DP(2)	主に専門科目により、美術に関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。	○
DP(3)	多様な社会に対応できるように、自己表現を深化させながらも他者の意見を尊重し、様々な表現を受け入れる豊かな人間性をもっている。	
DP(4)	様々な課題に取り組み、応用力と創造力を身につけて、その中から自己の個性を磨き表現できる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (ルーブリック評価)	資格試験	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)			50	50	100
美術DP(3)					0
美術DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》大場新之助：デザイナー	《経験年数1》 11年
	《内容2》東田修一：デザイナー	《経験年数2》 8年
	《内容3》西田恵子：インテリアコーディネーター、講師	《経験年数3》 25年
	《内容4》塩村亜希：建築士(住宅、店舗設計)インテリアコーディネーター、企画広報デザイナー(兼任)	《経験年数4》 25年
	《内容5》森みち子：建築士(一般住宅設計)、インテリアコーディネーター	《経験年数5》 10年

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
知識	インテリアコーディネートに関する知識が良く身につけていて、それを元に問題解決できる。	インテリアコーディネートに関する知識が身につけていて、それを元に問題解決しようとしている。	インテリアコーディネートに関する知識を知っている。	インテリアコーディネートに関する知識があまり身につけていない。
表現力	スケッチや、模型、プレゼンボードを用いて人に感動を与える魅力的な提案ができる。	スケッチや、模型、プレゼンボードを用いて人に伝わる提案ができる。	スケッチや、模型、プレゼンボードを用いて提案ができる。	スケッチや、模型、プレゼンボードを用いているが分かりにくく魅力がない。
行動力	事前準備や調査が十分にできている。興味がある分野を独自に研究できる。	事前準備や調査ができている。興味がある分野がある。	事前準備や調査ができている。	事前準備や調査を怠っている。
プレゼンテーション力	自分の考えや提案を論理的、且つ感動的に伝えることができる。説得力ある主張ができる。	自分の考えや提案を論理的、且つ感動的に伝えることができる。	自分の考えや提案を論理的、且つ感動的に伝えようとしている。	自分の考えや提案がまとまっておらず、理解し難い。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 地域に関わる課題を見つけて制作する (1週)	「千代女」の人物像や俳句が作られた時代背景、俳句についても調べておく	300分
第2回 資格試験1次対策最終・振り返り	過去の問題集を解き、答案用紙を元に自己採点しておく	300分
第3回 インテリアコーディネート演習1/資格試験2次対策1	演習課題に対するアイデア出し・制作/平面プランについて復習しておく	300分
第4回 インテリアコーディネート演習2/資格試験2次対策2	演習課題に対するアイデア出し・制作/立・断面図について復習しておく	300分
第5回 インテリアコーディネート演習3/資格試験2次対策3	演習課題に対するアイデア出し・制作/アイソメ図について復習しておく	300分
第6回 インテリアコーディネート演習4/資格試験2次対策4	演習課題に対するアイデア出し・制作/パースについて復習しておく	300分
第7回 インテリアコーディネート演習5/資格試験2次対策5	演習課題に対するアイデア出し・制作/論文の書き方について復習しておく	300分
第8回 インテリアコーディネート演習6/資格試験2次対策6	演習課題に対するアイデア出し・制作/プレゼンテーションについて復習しておく	300分
第9回 インテリアコーディネート演習7/資格試験2次対策7	演習課題に対するアイデア出し・制作/過去問題集を解いておく	300分
第10回 資格試験2次対策最終	演習課題に対するアイデア出し・制作/過去問題集を解いておく	300分
第11回 インテリアコーディネート演習8	演習課題に対するアイデア出し・制作	300分
第12回 卒業制作中間審査(5割以上の完成)	作品の進捗報告と展示についての構想を進めておく	300分
第13回 インテリアコーディネート演習9	演習課題に対するアイデア出し・制作	300分
第14回 卒業制作最終審査(8割以上の完成) 製作中の作品についてのプレゼンテーション	作品の進捗報告と展示についての構想をまとめておく	300分
第15回 作品展示についての研究	どのようなプレゼンテーションが効果的か調べておく	300分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、課題にかかわらず社会の動向や環境に関して興味をもち行動すること。インテリア・コーディネーター資格試験の予習復習を怠らないことが必要である。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
 ルーブリックによる課題の評価50% インテリア・コーディネート資格試験の結果50%

課題に対してのフィードバック

それぞれの課題をプレゼンテーション等を通して、各教員がルーブリック等を参考に評価しフィードバックする。資格試験合格に向けて小テストを定期的実施し、苦手をなくせるよう口頭またはコメントシートでフィードバックする。

教科書・参考書

インテリアコーディネーター合格テキスト 及び 授業時に各教員から紹介またはプリント配布□

□
□